令和４年(ネ)第1893号 各損害賠償等、同反訴請求控訴事件

控訴人兼被控訴人(一審原告)　　部落解放同盟外234名

控訴人兼被控訴人(一審原告)　　示現舎合同会社外２名

証拠申出書

令和４年11月10日

東京高等裁判所第16民事部ニ係御中

控訴人兼被控訴人(一審被告)　　示現舎合同会社

上記代表者代表社員　　宮部　龍彦

控訴人兼被控訴人(一審被告)　　宮部　龍彦

控訴人兼被控訴人(一審被告)　　三品　純

第1　証人尋問の申出

１　証人の表示

大阪市住吉区杉本3-3-138 大阪公立大学人権問題研究センター

同センター教授　阿久澤真理子　　(呼出・主尋問　15分)

大阪府柏原市旭ヶ丘4-698011 大阪教育大学地域連携・教育推進センター

同センター特任准教授　齋藤直子　　(呼出・主尋問　15分)

東京都千代田区内幸町２丁目２番２号

公証人　河村吉晃　　(呼出・主尋問　15分)

東京都千代田区内幸町２丁目２番２号

公証人　萩原秀紀　　（呼出・主尋問　15 分）

2　立証の趣旨（阿久澤真理子、齋藤直子）

証人らが「御用学者」であること。

3　立証の趣旨（河村吉晃、萩原秀紀）

事実実験公正証書（甲　344，490）の真実性。公証人と一審原告らの利害関係の有無。（一審被告第 5 準備書面関係）

4　尋問事項（阿久澤真理子、齋藤直子）

(1)　自身と原告部落解放同盟との関係について

(2)　自身と一般社団法人部落解放・人権研究所との関係について

(3)　一般社団法人部落解放・人権研究所と原告部落解放同盟との関係について

(4)　乙 762 の1『日本の被差別民政策と組織犯罪　同和対策事業終結の影響』の学術的評価について

(5)　乙 762 の 2『アイデンティティ政治の発明について　日本における被差別部落民』の学術的評価について

(6)　乙 793『穢多人別帳』の学術的価値について

(7)　乙 804『部落旧慣調査』の学術的価値について

(8)　その他上記に関連する事項

5　尋問事項（河村吉晃、萩原秀紀）

(1)　法務省での役職について

(2)　法務省における解放同盟との関係について

(3) 甲 344 または甲 490 事実実験公正証書の作成の経緯について

(4) 各一審原告らに対する判断基準と判断理由について

(5) その他上記に関連する事項

以上